

成長著しい東南アジア 魅惑のカンボジア金融視察ツアー

日程：2013年11月13日～17日 3泊5日



160,000円～250,000円

Tour Schedule

13日 成田(羽田)、関空、中部空港発
香港経由にてプノンペンへ
シェムリアップ空港到着 ホテルへ
夕食:高級アジアンバイキング
リバーサイドBARにて懇親会
宿泊:ホテルカンボジアナ

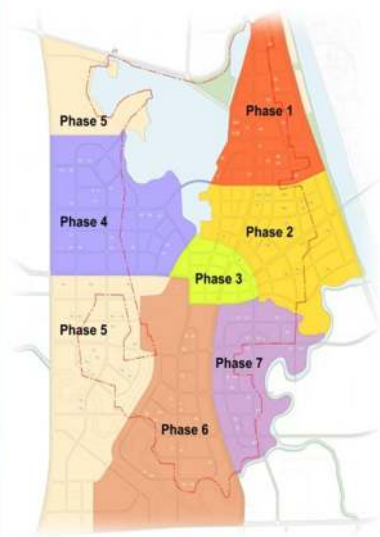
15日 自由時間 OP:銀行口座開設
プノンペン空港からシェムリアップ空港へ
夕食:カンボジア民族ディナーショー
宿泊:プリンスDアンコール

17日 朝、成田(羽田)、関西、中部空港到着・解散

14日 FGI社会議室にてセミナー
(アジア、カンボジア情勢や金融・不動産
情勢についての理解を深めます。)
ランドバンキング現地視察、説明
市内散策(ワットプノン、王宮、博物館)
夕食:北朝鮮レストラン
宿泊:ホテルカンボジアナ

16日 OP:アンコールワットツアー
費用:35,000円
シェムリアップ空港から香港経由にて帰国

食費は旅費に含まれております。



企画、運営: Future Gate Investment



カンボジア金融視察メンバーズ事務局

お問い合わせ : 045-367-5333

E-Mail : info@seeds-rich.jp

※費用は目安です。渡航時期により前後しますのでご了承ください。 ※1日帰着日延長プランのご希望も承ります。
※ツアースケジュールは一例です。詳細はお申込み後にご案内いたしますのでご確認ください。

何故、今カンボジアなのか！？

近年、日本企業によるカンボジアへの投資案件が急増しています。トヨタ、スズキなどの自動車メーカーや衣料品大手のユニクロのほか、王子製紙やイオンモールに至るまで、

数多くの日経企業が「チャイナ・プラスワン」との呼び声の高いカンボジアへ積極投資をおこなっているのはご周知のこと。

それもそのはず、カンボジアは勤勉な国民性に加え、平均年齢が22.9歳と周辺諸国に比べて人口構成が圧倒的に若い。

そのうえ、労働賃金は中国の3分の1の水準と低くあるため、同国の賃金上昇に頭を悩ませた国内外の企業が生産拠点をカンボジアに移すのも頷けることでしょう。

さらに、カンボジアは外国企業誘致にも積極的で、外資系企業でも差別なく優遇税制を受けられるのが魅力のひとつです。

今や、経済特区は20以上にも上り、金融危機前の04年～07年に至ってはGDP成長率が2桁を誇るなど、その急発展振りには先進諸国の間でも話題を集めました。

千載一遇の投資チャンス到来？！

戦後の焼け野原からスタートし、国民が一丸となって発展・復興を果たし、世界第2位の経済成長を遂げたかつての日本を彷彿とさせる、

とは言い過ぎかも知れませんが、いまや『失われた20年』、『少子高齢化』、先進諸国には類を見ない『超低金利』が続いたうえに、『未曾有の円高局面』を迎えている昨今の日本では決して感じる事の出来ない“可能性”と“投資機会”を共有できると心から信じております。

現地では、世界中の旅人を魅了し続ける世界遺産・異文化を堪能するのは勿論、これからのカンボジアの経済発展の拠点となるプノンペン地区の視察や、既に海外誘致を促し、急速な成長を遂げているシェムリアップ地区の活気を肌で感じて頂きます。

まるでドバイやタヒチを髣髴とさせるリゾート地区でいまだかつてないチャンスと、溢れんばかりの夢を語り合えれば、私にとってこれ程幸せなことは他にありません。

Future Gate Investment
CEO Takayasu Sugahara

